

平成28年度

全国学力・学習状況調査 調査結果

厚岸町教育委員会指導室

厚岸っ子の学びの 状況をお知らせします

～平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果～

4月19日に、全国学力・学習状況調査を実施しました。調査では、国語や算数・数学の2教科のほか、学習の状況をとらえるための質問紙調査（アンケート）も行っています。この調査で把握できる学力や学習状況は特定の一部ですが、調査結果から学校教育活動の状況や、児童生徒の学びの状況と傾向をとらえることで、今後の教育活動を改善していきます。

【平成28年度 全国学力・学習状況調査の概要】

- 1 調査期日 4月19日(火)
- 2 調査対象 町内の小学校6年生・・・ 64人
町内の中学校3年生・・・ 60人

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

①主に基礎的な「知識」に関する問題

国語A、算数・数学A

②主に「応用」や「活用」に関する問題

国語B 算数・数学B

(2) 質問紙調査

①児童生徒の学習状況を把握する調査

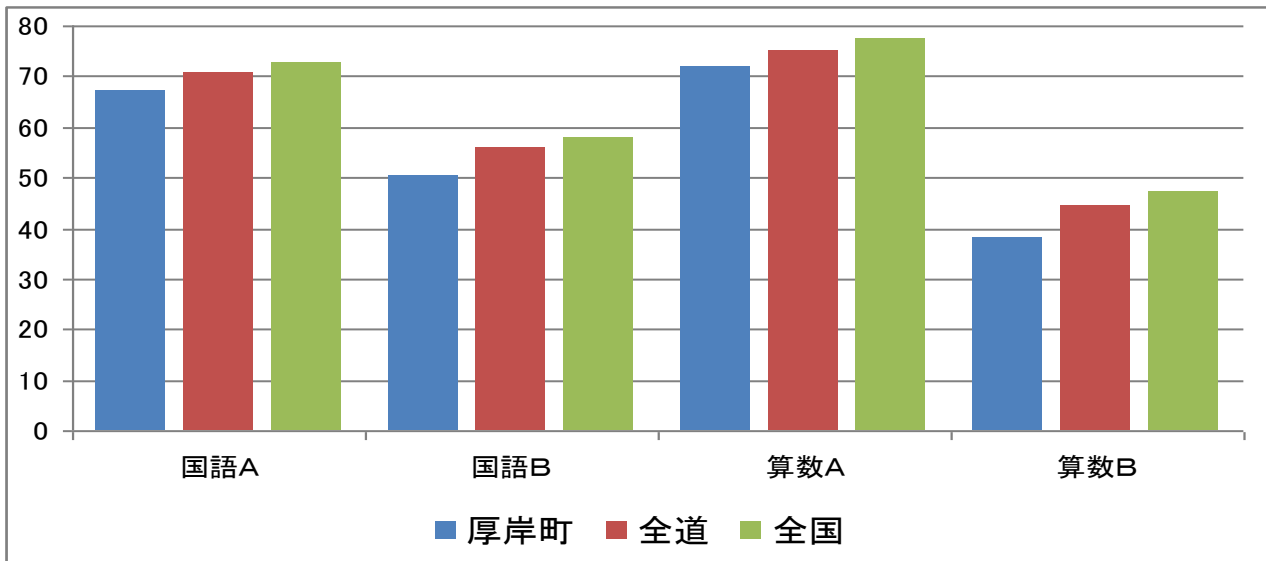
②学校の教育活動全般を把握する調査



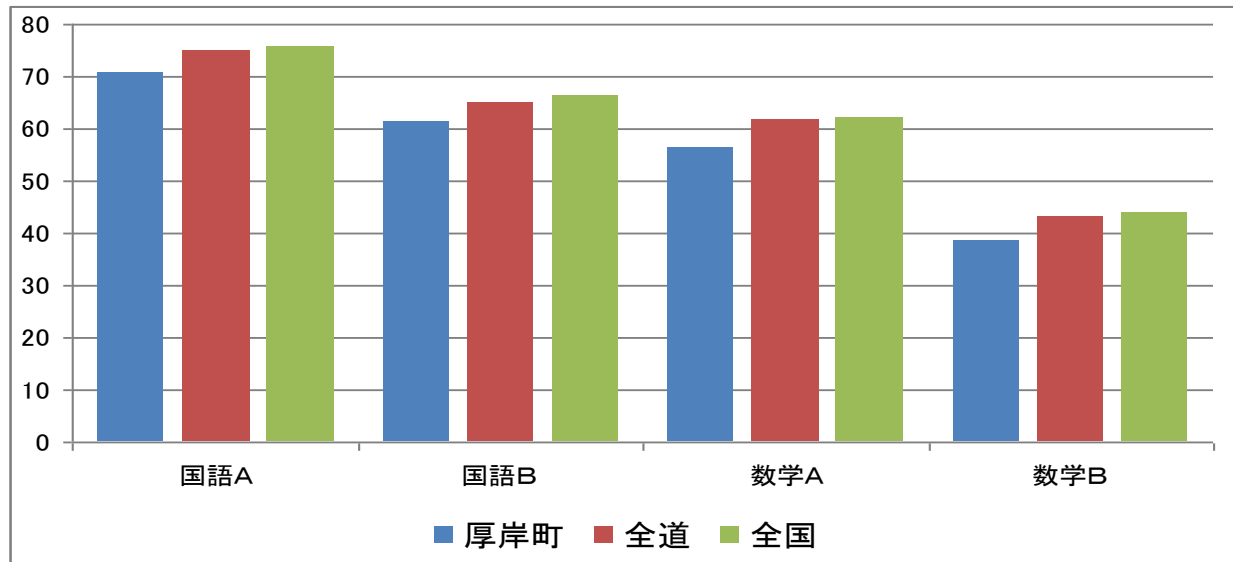
【小学校の授業の様子から】

《厚岸町・全道・全国の平均正答率（％）》

【小学校】



【中学校】



小中ともに
「書くこと」
の領域に課題

小学校国語では、基礎問題であるA問題の「話すこと・聞くこと」の領域が、全道・全国平均を上回りましたが、「書くこと」の領域が下回っています。主に活用問題であるB問題では、「目的や意図に応じて自分の考えを書く」設問の正答率が低い傾向にあります。算数では、活用問題の中でも、数量や図形についての技能や記述式の正答率が低い傾向となりました。

中学校国語では、目的に応じて資料を活用したり、文章を整理して内容をとらえたりする設問の正答率は全道・全国より高い傾向にあります。しかし、長文や資料から適切な情報を選択する設問の正答率が低い傾向にあります。

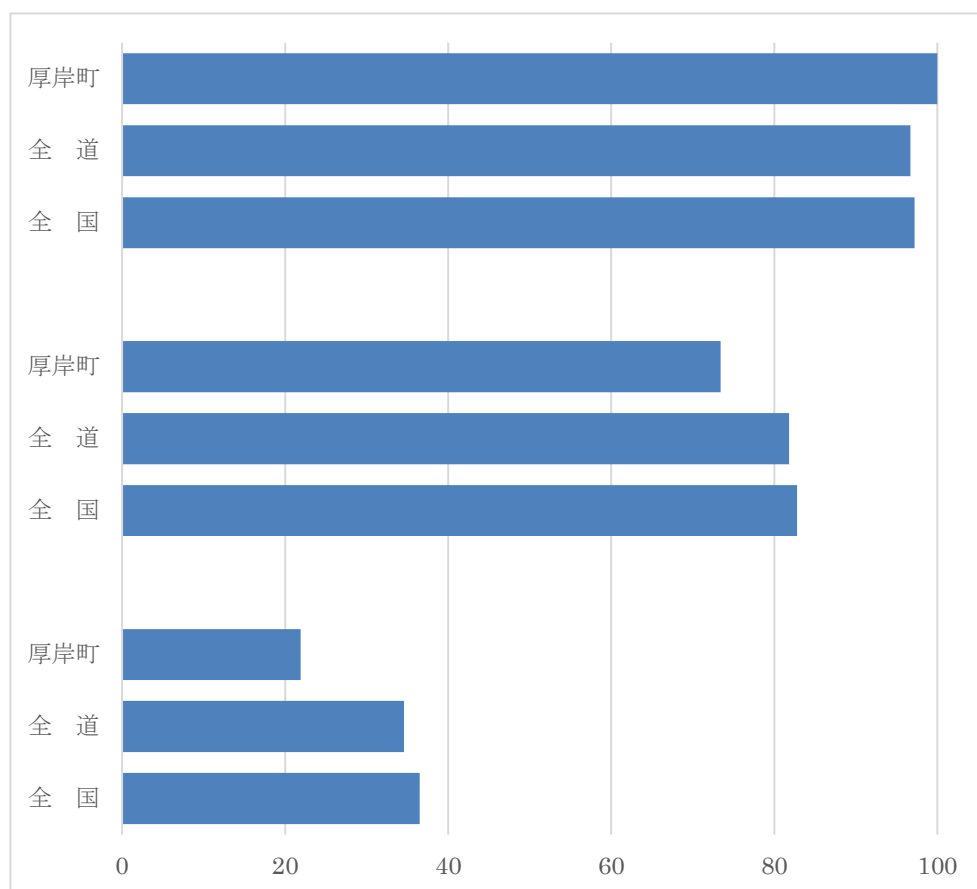
数学では、与えられた資料を活用する問題の正答率は全道・全国平均に比して高い傾向にあります。一方、関数領域の設問の正答率が全道・全国平均に比べ大きく下回っています。また、式の求め方を説明したり、理由や根拠を説明したりする力に課題がありました。

【小学生の学習状況】

友達との約束を守るようにしている

家の手伝いをしている

普段の30分以上読書をする



【小学生の学習状況】

生活面では、「学校のきまりを守る」や「友達との約束を守る」など、集団での規範意識を問う項目は、全道・全国比を上回っています。

学習面では、「わからないことは先生に聞く」と回答した児童の割合は全国比でも高いものの、「自分で調べる」と回答した児童の割合が低い傾向にあります。

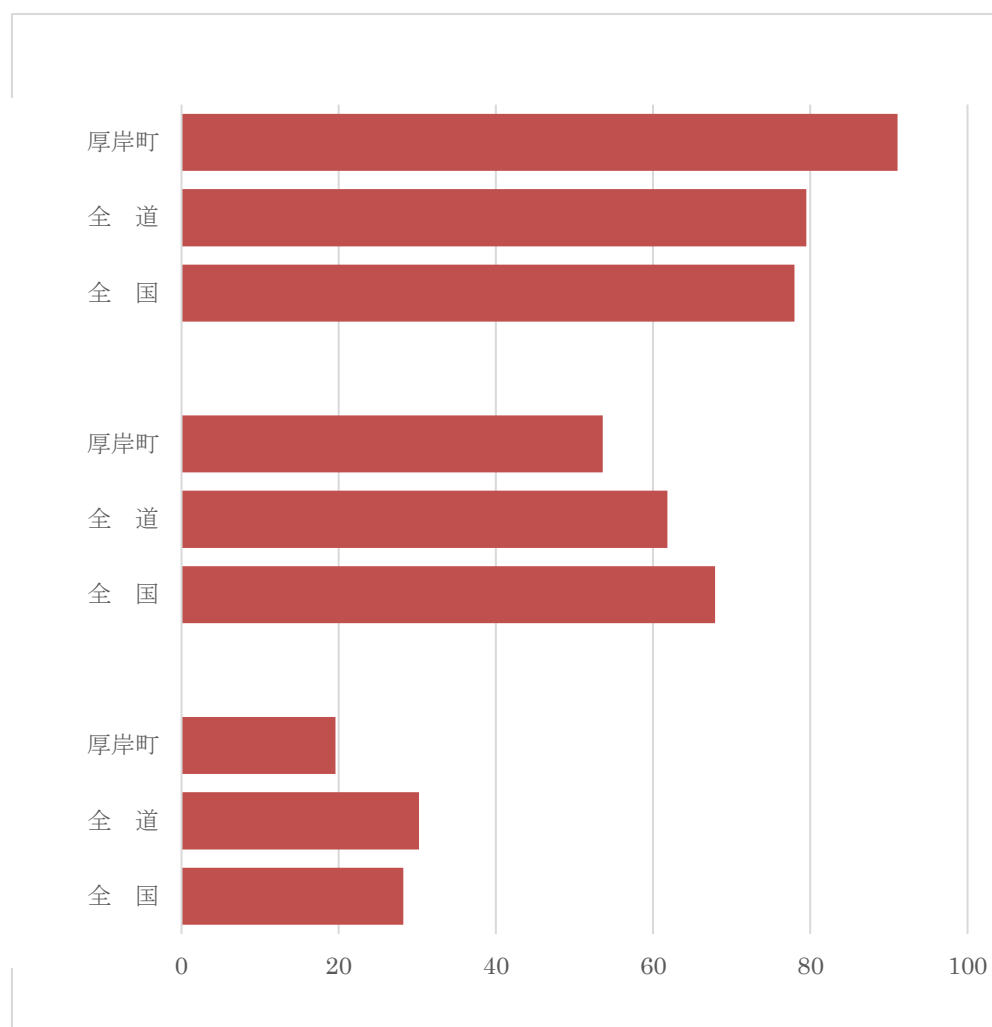
家庭における宿題の定着率は全国・全道比を上回っています。しかし、家での手伝いしている児童は全道・全国比でも低く、テレビ視聴が1日3時間を超える児童が25%、テレビゲームでは23%と高い傾向にあります。また、1日あたりの読書時間30分以上の児童が22%と低い実態にあることから、家庭での過ごし方を見直すことが必要です。

【中学生の学習状況】

学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある

普段、1時間以上学習している

普段の30分以上読書をする



【中学生の学習状況】

「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。」など、所属感や自己肯定感を問う項目は、全道・全国比でも大きく上回っています。

学習面では、学習習慣は定着傾向にありますが、毎日1時間以上学習している生徒の割合が低く、家庭学習の質的・量的な改善が課題です。また、3時間以上、テレビ、ゲーム、携帯電話等を使用している生徒の割合が25%前後と依然として高い傾向にあることから、情報端末機器の使用について継続的な見直しが必要です。生徒の約55%が「読書が好き」と回答していますが、30分以上読書をしていると回答した生徒は、約20%と低いことから、読書習慣を位置づけた生活リズムを確立しましょう。

～「わかる」「できる」を実感する学びへ～

学校では

- 楽しく学ぶ環境づくりに努めます。
- 学校の様子をわかりやすく保護者に伝えます。
- 学習規律を徹底します。
- 子ども一人一人の思考を促します。
- ノート指導を通して「書く力」を伸ばします。
- 自分の思いや考えを表現する場を多くします。
- 操作活動や実験・観察の技能を高めます。
- 学び方や学習のしかたを指導します。
- 学校間の情報の共有を図り、連携を深めます。

教育委員会では

- 町内の学力・学習状況を分析し、成果や課題から改善策を提示します。
- 少人数指導や長期休業中の学習を支援します。
- 先生の研修の機会を増やし、授業力を高めます。
- 情報館や分館、図書館バスの子どもの活用を積極的に進め、学校との連携を図ります。
- 情報端末機器のルールづくりを進めます。
- 社会性や人間性を高める体験活動の充実を図ります。

家庭では

- 家庭学習の習慣化を図りましょう。（学習時間と読書時間の確保）
- お手伝いなど、家庭での役割を持たせましょう。
- テレビゲームや携帯電話など情報端末機器のルールを家庭で決め、しっかり守らせましょう。

（厚岸町教育委員会指導室）